

雑踏警備の手引き



兵庫県警察

発刊に当たって

平成13年の明石市民夏まつり花火大会での雑踏事故から1年余が過ぎた。

本事故は、死者11人、負傷者229人を出し、未曾有の大惨事となったが、これを受け我々警察職員は、この犠牲になられた方々に報いるためにも、“二度とこのような悲惨な事故を発生させてはならない”といった決意を胸に、各種警察活動の現場で汗を流し、「県民の安全を守る警察」を実践しているところである。

ところで、警察活動の中でも今や年中行事的に展開されている雑踏警備であるが、これまで比較的平穏に推移してきたものの、この度の事故により、雑踏の怖さ、ひいては雑踏警備が警察活動上、極めて重要なものであることを痛いほど再認識させられたのも事実である。

これまで、この種分野に関する調査、研究が不十分であったという反省に立ち、これを施策として進め、その集大成として今回の本書発刊に至ったものであるが、これが第一線現場で行事参加者の安全対策に腐心している幹部や担当者に、有効に活用されることを願ってやまない。

なお、本書の内容が全国警察あるいは本県各警察署で扱う祭礼、イベント等行事の事情に全て当てはまるものではないし、手引き（マニュアル）が全ての場合をカバーするものではなく、最終的には、常に一つ一つの事案の特徴に応じた判断が必要であることは承知の上であるが、本書が全国警察や本県内の自治体にも活用されれば幸いである。

本書発刊に当たって、甲子園大学学長 木下富雄氏の助言をいた

だきながら、岡田光正・吉田勝行・柏原士郎・辻 正矩各氏＝共著の「建築と都市の人間工学」並びに日本建築学会編の「建築人間工学事典」を一部引用させていただくとともに、警察大学校研究科第578期（雑踏警備）学生の方々の研究成果を参考とさせていただいた。

改めて御礼を申し上げます次第である。

平成14年12月

兵庫県警察本部長

警視監 岡 田 薫

目次

第1章 雑踏の脅威

過去の雑踏事故の数々……	1
雑踏から生じる破壊力	2
● 跨線橋の板壁破損（国電日暮里駅）	2
● 玉垣を壊し折り重なるように崩れ落ちた人の山は2m（弥彦神社）	2
● 群集の重みで歩道橋手すりが湾曲 （明石市 朝霧歩道橋）	3
事故に遭遇した人々の証言	4
明石市民夏まつり雑踏事故	4
弥彦神社雑踏事故	6
二重橋雑踏事故	6

第2章 基本的事項

1 雑踏	9
（1） 雑踏の意義	9
（2） 雑踏の特色	9
2 雑踏現場	10
3 雑踏警備	11
（1） 雑踏警備の意義	11
（2） 雑踏警備に対する基本的な考え方	11
（3） 雑踏警備の根拠法令等	13
（4） 雑踏警備の対象（種類）	13

4 雑踏事故	14
(1) 雑踏事故の意義	14
(2) 社会的反響等	14

第3章 群集

1 群集心理	17
2 群集の行動特性	18
3 群集密度	19
(1) 密度の算定	19
(2) 屋内収容能力	21
(3) 屋外収容能力	22
4 群集の歩行速度	23
5 群集の威力	24
(1) 流動状態の群集	24
(2) 停止状態の群集	27
(3) 停止状態から急激に駆け出す群集	28
6 雑踏事故の制御	28
(1) ハード面の制御	30
(2) ソフト面の制御	31

第4章 雑踏警備の計画から実施まで

第1節 事前準備

1 基礎知識の涵養	35
(1) 雑踏に対する理解	35

(2) 過去の雑踏警備実施や事故事例及び群集密度等の研究	—	35
(3) 部隊指揮要領等の習熟	—————	35
(4) 広報要領の研究	—————	35
(5) 無線通話要領等の習熟	—————	36
2 実態の把握及び基礎資料の収集、整備	—————	36
(1) 定例的行事	—————	36
(2) 非定例的行事	—————	36
(3) その他	—————	36
3 装備資機材の点検整備	—————	37
4 行事内容等の早期把握	—————	37
5 事前協議	—————	38
 第2節 主催者への対応		
1 主催者に対する指導、助言及び連携の確保	—————	40
(1) 主催者側の責任体制の確立	—————	41
(2) 自主警備体制の確立	—————	41
(3) 自主警備計画の作成	—————	43
(4) 設備・環境の整備	—————	43
(5) 露店対策	—————	44
(6) 事前告知広報	—————	45
2 主催者等との事前検討会	—————	45
3 合同の实地踏査	—————	47
(1) 事前の实地踏査	—————	47
(2) 確認のための实地踏査	—————	47
～实地踏査で点検すべきポイント(例示)～	—————	48

4 突発事案等発生時における措置	48
(1) 行事等の中止に関する事前協議	48
(2) 不審物件等発見時における連絡方法等の協議	49
(3) 避難誘導の措置	49

第3節 警察の雑踏警備

1 事前対応	50
(1) 事前広報	50
(2) 関係機関への協力要請等	50
(3) 警備委員の応援要請	51
2 警備実施計画の策定	52
(1) 警備情勢の判断と基本方針の樹立	52
(2) 警備実施計画策定を目的とした実地踏査	52
(3) 警備実施計画策定の基本	53
(4) 警備実施計画の区分	53
(5) 警備実施計画策定要領(警備実施計画の内容)	54
(6) 警備部隊員に対する警備実施計画の周知徹底	58
3 現場対応	59
(1) 警備本部の設置等	59
(2) 警備部隊の運用	60
(3) 現場広報	61
(4) 装備資機材の活用	64
(5) 雑踏の整理誘導要領	65
(6) 交通規制等	65
(7) 悪天候時の対策	66
(8) 危険等の予兆現象の把握と即報	66
(9) 事故発生時の措置要領	67

4 事後対策	69
(1) 実施結果の把握と警備実施計画の検討、見直し	69
(2) 主催者等との事後検討	70
(3) 雑踏に関する問題点の申し継ぎ	70

第5章 雑踏事故の実例

雑踏事故の実例	71
過去の死傷者を伴う主な雑踏事故事例（県外）	72
過去の死傷者を伴う主な雑踏事故事例（県内）	73

第6章 参考資料

別記1 雑踏警備広報文案例	75
[交通規制予告]	75
[規制等の告知と迂回等の措置]	75
[行事概要説明及び観衆の誘導]	76
[整理方法周知と協力要請]	77
[迷惑・危険な行為への注意]	78
[事故等発生時]	79
[不審物件発見時・異臭発生時]	81
[交通規制解除と交通機関案内]	82
[行事終了時における駅の入場規制対策]	83
[一般雑踏対策・その他]	84

別記2 雑踏の整理誘導要領	86
1 待ち行列の整列	86
2 先頭誘導	88
3 分断誘導～通称いかだ流し	88
4 分断	89

○ 雑踏整理誘導等の具体的事例

県 外

1 成田山新勝寺（千葉）	90
2 隅田川花火大会（東京）	91
3 明治神宮（東京）	93
4 平成淀川花火大会（大阪）	94
5 宇治川花火大会（京都）	96
6 造幣局桜の通り抜け（大阪）	97

県 内

1 相生ペーロン祭	98
2 神戸まつり	99
3 清荒神清澄寺	100
4 神戸ルミナリエ	101
5 2002FIFAワールドカップ	103